



厚生労働省の調査によると、令和4年度の高齢者虐待の相談・通報件数は、養介護施設従事者によるものが2795件（対前年度比405件増）、養護者によるものが3万8291件（同比1913件増）と、いずれも過去最多で2年連続増加しています。

みんなで防ごう高齢者虐待 〜地域包括支援センターだより〜

【高齢者虐待はなぜ起こる】

次のような要因が重なり合って起こるといわれます。

- 性格や生活歴……………介護者および高齢者本人の性格やこれまでの生活歴
- 経済的困難……………高齢者本人や介護者の経済的困難
- 家族・親族との関係……他の親族等の無関心が、介護者を孤立させ、問題を抱え込む
- 高齢者の身体状況……身体的な配慮が必要な場合や認知症による言動の混乱など
- 介護負担……………介護疲れや介護力の不足、介護者の持病などによる介護者のストレス

高齢者虐待に該当する行為

種類	具体例
身体的虐待	たたく、つねる、殴る、蹴るなどの暴力 家から出さない、ベッドに縛りつけるなどの身体拘束
介護や世話の放棄 (ネグレクト)	食事や入浴、排泄などの世話をしない 必要な治療を受けさせない 衛生状態の悪い環境で生活させる
心理的虐待	怒鳴る、ののしる、侮辱するなどの言葉の暴力
性的虐待	合意のないあらゆる形態の性的な行為
経済的虐待	年金や預貯金などを勝手に使う、財産を無断で処分する



【「虐待者＝悪者」ではない】

高齢者の虐待が起こる要因は、複数ありますが、介護者が心身ともに疲弊し、精神的に追い詰められ、その結果、虐待に至ってしまうケースもあります。虐待した人が抱え続けている複雑な問題についても配慮する必要があります。



【高齢者虐待を防ぐには】

- ・声をかけあえるご近所付き合い
- ・小さな変化に気付く
- ・「もしかしたら」と思ったら迷わず相談

【高齢者虐待に気づいたときは】

高齢者虐待を防止するためには、「早期発見」と「介護者への支援」が大切です。虐待の恐れがあると思ったら、まず相談・通報してください。虐待であるという証拠は必要ありません。虐待に気づいたら地域包括支援センターに連絡してください。相談・通報者の個人情報厳格に保護されます。

問い合わせ先

役場介護環境課地域包括係
☎(86) 1153「直通」

マスの中に「+」か「-」を入れて計算式を完成させましょう。

- ① 17 □ 15 □ 8 = 24
- ② 31 □ 5 □ 13 = 13
- ③ 21 □ 3 □ 14 = 38
- ④ 13 □ 18 □ 13 = 44

